

夏期の病害虫に注意しよう！

令和4年7月 大里農林振興センター



梅雨明け前からの急激な気温上昇と天候により、病害虫の多発が予想されます。ほ場を定期的に観察し、予防を心がけた防除を行いましょう！

①ネギハモグリバエ

注意



- ・ 降雨にあわせて粒剤を処理しておく
- ・ 幼虫の食害、成虫の発生を見たら速やかに薬剤散布する

②軟腐病

注意



- ・ 明渠等の設置・補修を行って排水対策を徹底する
- ・ 常発地では発生前から薬剤を使用して予防する

③ネギアザミウマ・黒斑病

(7月に多発生が予想されています！)



- ・ 病害虫発生予報[病害虫防除所]発生量(7月): **平年より多い**
- ・ 早期発見に努め、薬剤散布等を行い、初期防除を徹底する

ネギハモグリバエ・軟腐病により、ネギ葉の白化や株の消失が見られてからの防除では手遅れになります。必ず初期防除に努めましょう！



さいたまっち

生育期の防除薬剤例(薬剤例は令和4年6月22日現在の登録状況に基づく)

作用機構 分類 IRAC/ FRAC コード	薬剤名	適用病害虫				使用方法	使用時期	本剤の 使用回数	その他登録病害虫
		ネギ ハモグリバエ	ネギ アザミウマ	軟 腐病	黒 斑病				
4A	スタークル顆粒水溶剤	○ ※1	○ ※2			株元灌注	生育期(但し、 収穫14日前まで)	1回	クロバネキノコバエ類 トビイロヒョウタンゾウムシ
	アルバリン顆粒水溶剤		○ ※2			散布	収穫3日前まで	2回以内	
	ダントツ粒剤	○	○			株元散布	収穫3日前まで	4回以内	ネダニ類
	バストガード水溶剤	○	○			散布	収穫前日まで	3回以内	クロバネキノコバエ類
5	ディアナSC	○	○ ※2			散布	収穫前日まで	2回以内	シロイチモジヨトウ、ネギコガ
6	アフーム乳剤	○ ※1				散布	収穫7日前まで	3回以内	シロイチモジヨトウ
14	リーフガード顆粒水和剤	○	○			散布	収穫7日前まで	2回以内	ネギコガ
15	カスケード乳剤	○	○			散布	収穫14日前まで	3回以内	クロバネキノコバエ類 シロイチモジヨトウ
28	ベネビアOD	○ ※1	○ ※2			散布	収穫前日まで	3回以内	シロイチモジヨトウ
28+4A	ミネクトデュオ粒剤	○ ※1	○ ※2			株元散布	収穫3日前まで	3回以内※3	シロイチモジヨトウ
30	グレーシア乳剤	○ ※1	○ ※2			散布	収穫7日前まで	2回以内	クロバネキノコバエ類 シロイチモジヨトウ、ネギコガ
M01	ヨネボン水和剤			○	○	散布	収穫7日前まで	4回以内	さび病、べと病
P02	オリゼメート粒剤			○		株元散布	土寄せ時(但し、 収穫30日前まで)	2回以内	
31	スターナ水和剤			○		散布	収穫7日前まで	3回以内	
U18	バリダシン液剤5			○		散布	収穫前日まで	2回以内	白絹病※4
24+M01	カスミンボルドー			○		散布	収穫14日前まで	2回以内※3	
2	ロブラール水和剤				○	散布	収穫14日前まで	3回以内	ボトリチス葉枯症、小菌核腐敗病 白絹病※5
7	カナメフロアブル				○	散布	収穫前日まで	4回以内	さび病 白絹病※4、黒腐菌核病※4
11	ファンタジスタ顆粒水和剤				○	散布	収穫7日前まで	3回以内	さび病、葉枯病、小菌核腐敗病
	メジャーフロアブル				○	散布	収穫前日まで	3回以内	さび病、べと病 白絹病、葉枯病、黒腐菌核病

- ※1 ハモグリバエ類で登録 ※2 アザミウマ類で登録
 ※3 混合剤は、成分の総使用回数に注意して使用すること。
 ※4 使用法は株元散布 ※5 使用法は株元灌注

○農薬の使用時は必ず使用農薬のラベルを確認してください。

○同じ薬剤・作用機構分類の薬剤の連用は避け、飛散に注意して散布を行ってください。

○栽培記録簿等の農薬チェック表を事前によく見て、散布回数等をよく確認してください。